

令和2年度 食に関する指導の全体計画①（北九州市立松ヶ江北小学校）

【児童の実態】
 ・素直で元気がよく、児童同士の仲が良い。
 ・食の経験が少ない。
 ・朝食をほぼ毎日食べる児童：96.5%(R元年)
 ・給食の残食率：副食 0.95%(R元年)
【保護者・地域の実態】
 ・保護者や地域は、学校に対し協力的である。
 ・地域で様々な交流をしながら、児童の見守りを行っている。

学校教育目標
 豊かな人間性と健やかな体を持ち、
 新しい時代をたくましく生きる子どもの育成

【第3次食育推進基本計画】
 ・朝食を欠食する子 0%
 ・栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民 70%
【第三次北九州市食育推進計画】
 ・朝食をほぼ毎日食べる者の割合(小学生) 100%
【北九州市子どもの未来をひらく教育プラン】
 (健やかな体の育成) 朝食摂取率を全国平均 94.5%以上 (H30全国学力学習状況調査 小6)

食育の視点
 ◇食事の重要性
 ◇心身の健康
 ◇食品を選択する能力
 ◇感謝の心
 ◇社会性
 ◇食文化

食に関する指導の目標
(知識・技能)
 食事の重要性や栄養バランス、食文化等について理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けるようにする。
(思考力・判断力・表現力等)
 食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づいて考え、自ら管理したり判断したりできる能力を養う。
(学びに向かう力・人間性等)
 主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に対して感謝の心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。

幼稚園・保育所 幼保連携型認定こども園	各学年の食に関する指導の目標			中学校 (松ヶ江中) 親子給食実施 栄養教諭による給食訪問 残食調査 三校合同研修会 入学説明会 中学校連絡会
	1、2年	3、4年	5、6年	
体験入学 入学説明会 保幼小連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に興味関心をもつ(重) ・好き嫌いせずに食べようとする(健) ・いろいろな食べ物の名前が分かる(鑑) ・心を込めて、いただきますとごちそうさまのあいさつができる(感) ・みんなと協力して給食の準備、後片付けができる(社) ・季節や行事にちなんだ料理があることを知る(文) 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく食事することが心身の健康に大切なことが分かる(重) ・健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする(健) ・衛生的に給食の準備や食事、後片付けができる(鑑) ・自然の恵みに感謝して食べることができる(感) ・楽しく給食を食べるために、みんなで協力して工夫ができる(社) ・地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連付けて考えることができる(文) 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく食事することが人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながる(重) ・食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせる大切さを理解し、一食分の食事が考えられる(健) ・食品の衛生に気を付けて簡単な調理をすることができる(鑑) ・食事にかわる多くの人々や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる(感) ・楽しい食事を通して、相手を思いやる気持ちをもつことができる(社) ・食文化や食品の生産、流通・消費について理解を深める(文) 	

食育推進組織（主題研修）
 校長・教頭・教務主任・研究主任・栄養教諭(給食主任)・養護教諭・他全職員

食に関する指導
 ・教科等における食に関する指導：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
 社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間
 ・給食の時間における食に関する指導
 食に関する指導：献立を通して学習、教科等で学習したことを確認。
 給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
 ・個別的な相談指導：肥満、やせ傾向、食物アレルギー・疾患、偏食、個別の指導計画、個別の教育支援計画、アレルギー対応給食

地場産物の活用
 ・給食献立への活用について、地場産物等の校内放送などを使用した給食の時間の指導充実を図る。
 ・給食の食材生産者との交流：生産者を学校へ招聘、児童による農場見学など体験的な活動と教科等の学習を関連付ける

家庭・地域との連携
 学校だより、食育だより、保健だより、学校ホームページ、学校給食試食会、学校保健委員会、給食交流会

食育推進の評価
 活動指標：食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整
 成果指標：児童の実態、保護者・地域の実態